

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	香川こだま学園		
○保護者評価実施期間	令和8年1月		～ 令和8年2月
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和8年1月		～ 令和8年2月
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年1月		～ 令和8年2月
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	8園	(回答数) 8園
○事業者向け自己評価作成日	令和8年5月22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所等訪問支援を利用している児は児童発達支援も併用しているため、訪問支援員が子どもの生活や発達状況などを把握しやすい。	訪問前に訪問支援員と児童発達支援担当職員が対象児について十分に情報交換を行い、共通した子どもの像を持った状態で訪問支援を実施している。訪問支援員と児童発達支援担当職員で訪問支援を行い、子どもの生活や発達状況に関する情報を提供することで、訪問先施設職員が子どものイメージを描き易くなり有効な助言につながっている。	訪問前に訪問支援員と児童発達支援担当職員との情報交換、情報共有を確実にするなど引き続き多職種が連携して子どもの実態に即した助言を行ってきたい。
2	訪問先施設や保護者と情報共有を十分に行うとともに具体的な助言を行っている。	訪問後の振り返りを職員間で共有し、また保護者との面談やモニタリングを確実に実施している。	訪問先職員や保護者が前向きに保育、養育ができるように研鑽を積みみたい。
3	当施設が小さな県のほぼ中心部に位置するという地理上のメリットから、どの訪問先へも1時間程度で向かうことができる。	どの施設へも定期的に確実に訪問できている。	今後も一人ひとりの児のニーズに合わせた形で訪問支援を行ってきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員個々の支援力に差がある。	療育の経験年数に差がある。	経験の浅い職員が訪問支援に同行する機会を増やしたり、訪問支援についての職員研修を行ったりして人材育成に努めたい。
2	重複した障害を持つ対象児もおり、一人ひとりの子どもについての目標設定をする際、より細やかに子どもや訪問先施設の実情に合わせたものにしなければいけない。	子どもの発達状況や集団適応の状況がさまざまである。	子どもの発達状況、集団適応の状況、保護者や訪問先施設の意向などを丁寧に聞き取ることが大切である。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 香川こだま学園

公表日 令和8年 6月 1日

利用児童数 令和8年 1月 5日現在 回収数 8名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	6	0	0	2		訪問目的に応じて資料や記録用器具を準備して訪問しています。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	8	0	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	8	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	7	1	0	0		保護者の方と話し合いながらご要望にお応えしていききたいと思います。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	7	0	0	1		訪問支援員4名と児童発達支援管理責任者とで、できるだけ複数体制、多職種連携体制をとって対応していこうとしています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	8	0	0	0		
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	2		保育所等訪問支援ガイドラインに沿った支援計画を作成しています。今年から個別支援計画の書式を変更しましたので、目標や具体的な支援内容がより分かり易くなっていると思います。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	0	0	2		予め訪問先施設の意向を踏まえて支援計画を立て、計画に沿った支援を行っています。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	8	0	0	0		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	8	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1	0	0		保護者の方からのご相談には時間を設けて応じるような体制を整えています。
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1	0	0			

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	2	0	3		保育所等訪問支援についての事業所評価の公表は義務付けられています。毎年5月に前年度の自己評価結果をHPに掲載しますのでご確認ください。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	2		個人情報の守秘義務については職員研修での必須項目で、全員で受け負に配慮しています。また個人情報保護についての同意者を保護者の方からいただいています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6	0	0	2		初回訪問時に児発管と訪問先施設長が話し合い、緊急時対応等について確認しています。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	3		事業所の緊急時対応マニュアル等に沿って支援を行っています。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	8	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0		

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	令和8年 6月 1日
香川こだま学園	利用児童数	令和8年1月5日現在 8名

	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7	1		<ul style="list-style-type: none">・子どもの姿容、職員の関わり、支援方法について毎回丁寧に見てアドバイスをいただき、即保育に生かすことができています。・保育所の様子に合わせ、こだま学園で様子を伝えてくださり、訪問時の助言はとてもしっかり易いです。・開始時に難聴についてや人工内耳についての詳しい資料をいただき説明してくださったので分かり易かった。・対象児の一つ一つの行動を専門的視点で話してくれたことでアプローチの仕方を変えて対応することができた。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	7	1		<ul style="list-style-type: none">・専門的な部分のかわり方を伝えていただき、保育の日々のかかわりにつなげることができています。・専門的な知識の向上につながった。	

3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・本児の様子を伝える際に質問させていただき、丁寧に回答して下さるので実践につながっています。 ・支援員の意見を主張されることが多く、園の取り組みにもう少し寄り添ってほしい。 	訪問支援開始前に訪問先施設の意向や取り組み方について聞き取り、共通理解が図れるよう努めたい。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・所内だけでは解決できないことも訪問でのやり取りを重ねることで解決、軽減しています。 ・本人の発達段階、家庭での様子と母の願いを踏まえうえで、本人が集団の中で過ごすのに必要な力をつけさせたいというこちらの意図を支援員に理解していただくのに時間を要した。 ・こだま学園、家庭、保育所が悩みを共有して本児のためにより良い支援の方法を一緒に考えることができるので良い。 ・聴覚に支援が必要な園児の保育が初めてということもあり、専門的な話が聞けて理解が深まった。 	
5	事業所からの支援に満足していますか。	7		1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から聞いた情報も共有していたので家庭連携に生かせています。 ・満足しています。日程などについても相談に乗っていただき助かっています。 ・専門的な支援方法をもっと教えてほしい。 	集団適応を支援するために、それぞれの子どもの発達状況、特性についてさらに分析し、訪問先施設と共通理解を図ることに努めたい。
その他のご意見		ご意見を踏まえた対応				
・いつもありがとうございます。去年の様子を思い出すといろいろなことに自信を持って取り組						

むことができるようになってきていると思います。音楽では得意な分野ではありませんでしたが、みんなで合奏となると聞こえの面で本人が分からなくなっているような時もありました。本人が周りを見てカバーしているところもあるのですが、ふとした時に配慮が必要な時があると感じました。

今後もアドバイスをいただきたきながら関わっていかれたらと思います。

・ 本児の保育所での様子を見ていただきながら、その都度声をかけてくださり、また私たちもこども園での様子を聞かせてもらうことで、本児へのかかわりにつなげていくことができていると思います。ことばで伝えようとする本児の姿への支援の仕方など特に今必要としている支援につなげることができ、今後も訪問支援を大切にしていきたいと思います。

・ 日々の活動の中で普段は見えにくい場面において本児の聞こえ方や心の動き、友達のかかわり方、その時々々の行動の意味について多面的にとらえてお互いに話し合う機会が持ててよかったです。主に主活動の時間に訪問していただいたが、給食や午睡などの活動の前後などや生活場面で姿を見てもらう機会があれば良いと感じました。

・ 訪問回数、時間が多く、その都度担任が保育を抜けて説明をしなければならなかった。負担感が大きかった。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		香川こだま学園					公表日	令和8年 6月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点			
環 境 ・ 運 営 ・ 備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6						
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6						
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	6						
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者向け評価表は集計結果を分析し、職員 間で今後の対応などを話し合っており共有してい る。				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	6						
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		6			第三者評価については今後受ける方向で検討 していきたい。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	6		月1～3回行っている職場内研修の時間だけ でなく外部の研修も受講する機会を設けてい る。		今後外部研修を受講する機会を増やしてい きたい。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	6		支援計画作成前には、日々の子どもの行動観 察や保護者へのアセスメントからそれぞれの ニーズや課題を抽出・分析しそれを基に支援 計画を作成している。				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6						
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	1			集団適応を支援するために、それぞれの子ど もの発達状況、特性についてさらに分析し、 訪問先施設と共通理解を図ることに努めたい 。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	6						
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の子どもの行動観察については詳細に記 録し課題の分析も行っているが、ツールを用 いたアセスメントは行っていない。		標準化されたツールを用いたアセスメントも 行うことを検討したい。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	6						
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	6						
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	6		訪問前には訪問支援員同士で子どもの現状と 課題を共有し、訪問支援の目的、予想される 子どもの状況に対するの対応策などを確認し ている。				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		短い時間であっても支援の振り返りを行い、 保護者支援の内容などの確認も行っている。				
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	5	1			訪問支援実施前に訪問先の理念や支援手法、 ニーズなどを把握することに努めたい。			

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	毎回の訪問時に訪問先担当者と面談あるいは時間がないときは電話で、子どもの状態についての確認や課題の把握を行っている。また支援計画策定前に面談、電話あるいはメールなどで計画見直しに関する意向の確認やモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		就学前に、保護者の意向を確認して就学先へ訪問し、情報共有と相互理解を図るようにしている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6			今後研修機会を増やしていきたい。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		利用契約を結ぶ際、事前に説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6		初回訪問時に行っている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			子どもとの日々のコミュニケーションは密に行い、その発達状況の把握も行っているが、今後保護者の意向の確認だけでなく子どもの意向も支援計画に反映されるように努めたい。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		児童発達支援との併用で、こだままつりに家族で参加し交流できる機会を作っている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		児童発達支援センターとして施設から発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6		
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	6		時間の都合で面談を行えないときは電話でカンファレンスを行っている。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		児童発達支援センターとして各種マニュアルを整備し、毎月各種訓練を行っている。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		施設として安全計画を作成し、定期的な点検をはじめ必要な研修や訓練を行っている。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		